

東京聖新会 COVID-19 対応指針

2020年3月30日

2019年に令和改元となり、新たな「令和2年の始まり」は、コロナ禍と共にやってきた。大変な社会情勢であるが、社会福祉法人東京聖新会(特養フローラ田無、老健ハートフル田無)は、地域における複合的施設として市民の安全のために事業を継続してゆかなくてはならない。そのために、東京聖新会 COVID-19 対応指針を以下のように定める。

<東京聖新会 COVID-19 対応ガイドライン>(別紙1.参照)

東京聖新会が策定する COVID-19 対応指針は、「感染予防」を目的としている。

東京聖新会には「ウイルスを侵入させない」を目指し、次の対応レベルを整理し、定める。

I.個人レベル

II.各事業所レベル

III.法人全体(建物全体)レベル

以上、対応を行う規模を三段階に分けた。それぞれのレベルへ移行する際の根拠を明確にし、レベル別の対策を明示した。このガイドラインに従い、これから感染症対策を行うこととする。

<経過>

令和2年2月19日に実施した対応策と共に、その時の感染状況や感染レベルによっての様々な対応対策が練られ、東京聖新会の BCP(令和2年2月29日 HP 公開)も改善が進められてきた。東京聖新会は「入所施設」であるフローラ田無に加え、医師を始めとする医療スタッフが常駐対応できる老健施設が併設されており、より安全な対応可能な施設としての期待は大きいことを背景として、迅速な対応が望まれた。翌3月11日には、「コロナウイルスと疑われる熱発時の対応プロセス」をわかりやすくまとめたフローチャートも示され、西東京市や保健所へ通報するフローが整った(別紙2.参照)。これに続き、作成済の東京聖新会 BCP の増補版を3月29日(東京聖新会 HP 参照)に発表した。

ここでは、更にこれまでの東京聖新会の講じた通常の感染症対策に加え、今後予想される「ロックダウン」の可能性を勘案し、「地域ぐるみで法人全体」で対応に取り組むため「対応指針(ガイドライン)」の再構築を行うこととした。このガイドラインは、3月30日東京聖新会感染症対策緊急委員会にて策定された。4月1日より「感染症予防体制レベルⅢ-A(下記参照)を実施している。

日本は世界で最長寿国である。今回の COVID-19 ウイルス対策は、最も注意深く講じていかないと大変なことになると誰もが予想している。こうした「今だからこそ」東京聖新会は、このガイドラインのもと一致団結し、この危機を乗り越えたい。

2020年3月30日東京聖新会

フローラ田無 尾林 和子
ハートフル田無 増山 茂

(別紙 1.)

感染症に対するレベル別 東京聖新会 法人対応

I.個別対応	感染症マニュアル、感染症検査フローチャートによる対応		ベッド隔離、食事スペース対応、居室隔離、個室隔離
II.事業所対応	A	感染者が複数になった場合	面会中止 他ゲスト毎日検温、全身状況経過観察
	B	隔離室が複数となった場合	職員毎日検温 法人対応へ移行する検討を行う緊急会議の実施
III.全法人対応	A	各事業の物理的分離 人的動線分離ゾーン分け 厨房業者を始めとする外部事業者への各要請	全職員出勤時検温 ゲスト定期受診回避、緊急時受診あり 職員出入口の分別、ピンクゾーン、グリーンゾーンの設定等詳細部分は各部署のマニュアルによる 厨房業者スタッフの検温確認
	B	市内他施設で感染症が認められた場合	施設入所以外のサービスは中止 訪問部署については代替対応
	C	当法人で感染の発生が確認された場合	自治体、保健所に報告し指示に従う。 スタッフは自宅待機、もしくは施設内外宿泊施設を確保し、入所者へのケアサービスを提供する。

※既に作成済の「熱発者の対応」の内容によって自治体、保健所へ相談報告する。

(別紙 2.参照)

コロナウィルスと疑われる熱発時の対応プロセス

東京聖新会 フローラ田無・ハートフル田無

2020.3.11更新

症状	対応1	対応2
一日目 38℃以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・個室隔離 ・簡易ガウン ・マスク ・SPO2測定 ・水分アップ 	医療スタッフ連絡 フローラ・ハートフル連絡ライン 家族への連絡 認知症利用者で隔離不能時は食席を変更する等実施。
二日目 37.5℃以上 	対応は継続し <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系症状 ・せき ・たん ・倦怠感呼吸苦がないか 注意深く観察する	解熱したら、解除 複数名に症状が現れたときは 四人部屋を確保し、居室単位で隔離対応を行う。 フローラ個室の隣へ居室設定 ハートフルは、原則なごみ側へ居室を確保し隔離とする。場合によっては2階ひだまりも～
三日目 37.5℃以上 <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系症状 ・せき ・たん ・呼吸苦 ・SPO2 93% 	症状が疑わしいときは 「防護set」に切り替える。 ハートフル看護武内さんに報告し防護setを受け取る。	
四日目 37.5℃以上 <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系症状 ・せき ・たん ・呼吸苦 ・SPO2 93% 	朝、保健所へ連絡を行う 1.平日午前9時から午後5時まで「多摩小平保健所」 電話番号：042-450-3111 2.平日午後5時から翌午前9時まで及び土曜日・日曜日・祝日の終日「合同電話相談センター」 電話番号：03-5320-4592	報告 連絡 相談 確認

手洗い



換気



- 【換気扇を使うとき】**
換気扇から離れたところの窓を開けましょう
- 【窓を開けるとき】**
空気の入口と出口の2か所を開けましょう

湿度管理60%

消毒

